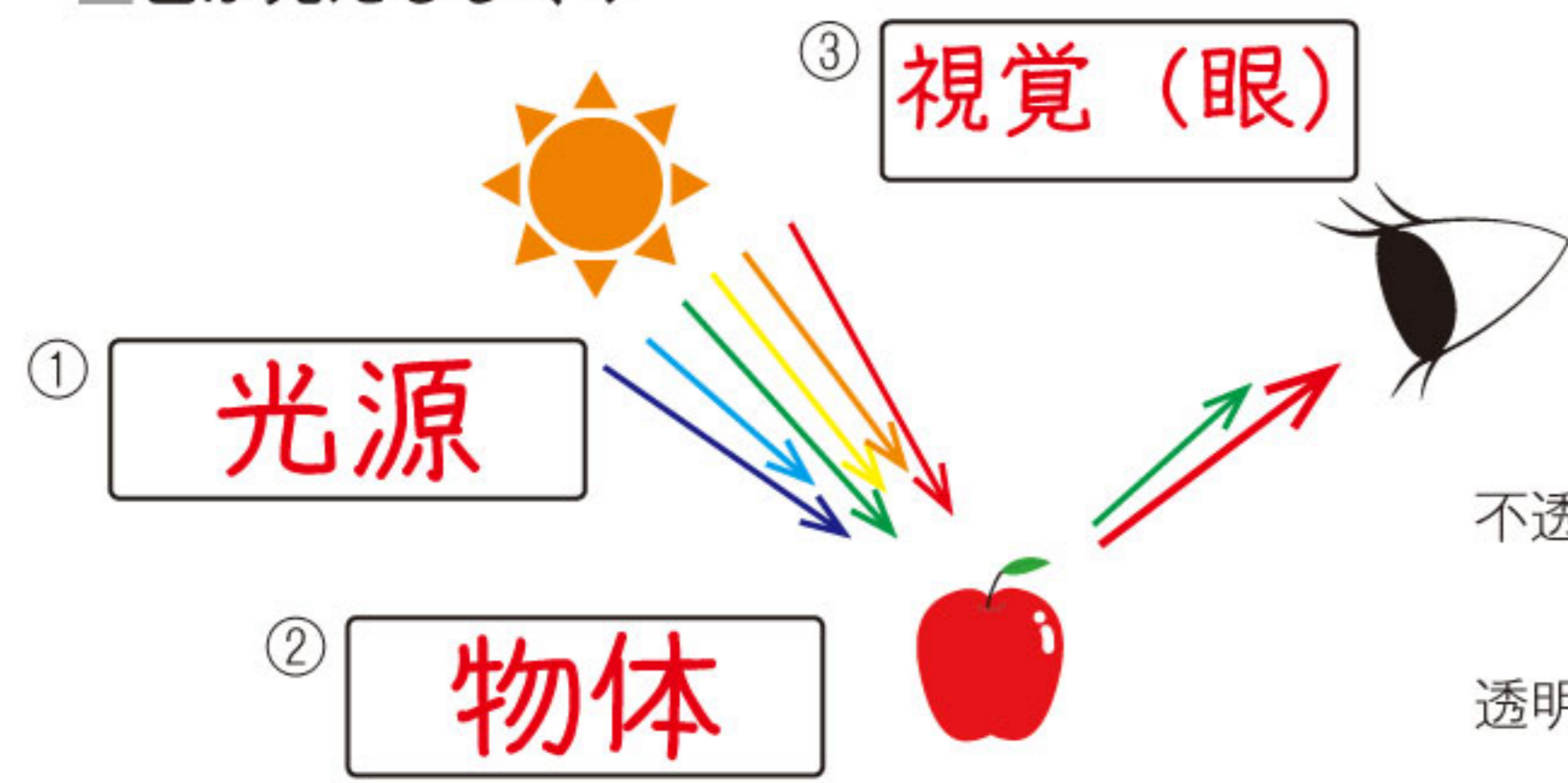


確認しよう！

下の枠内に該当する言葉を記入して完成させましょう。

■色が見えるしくみ



①の成分を表すグラフの名称

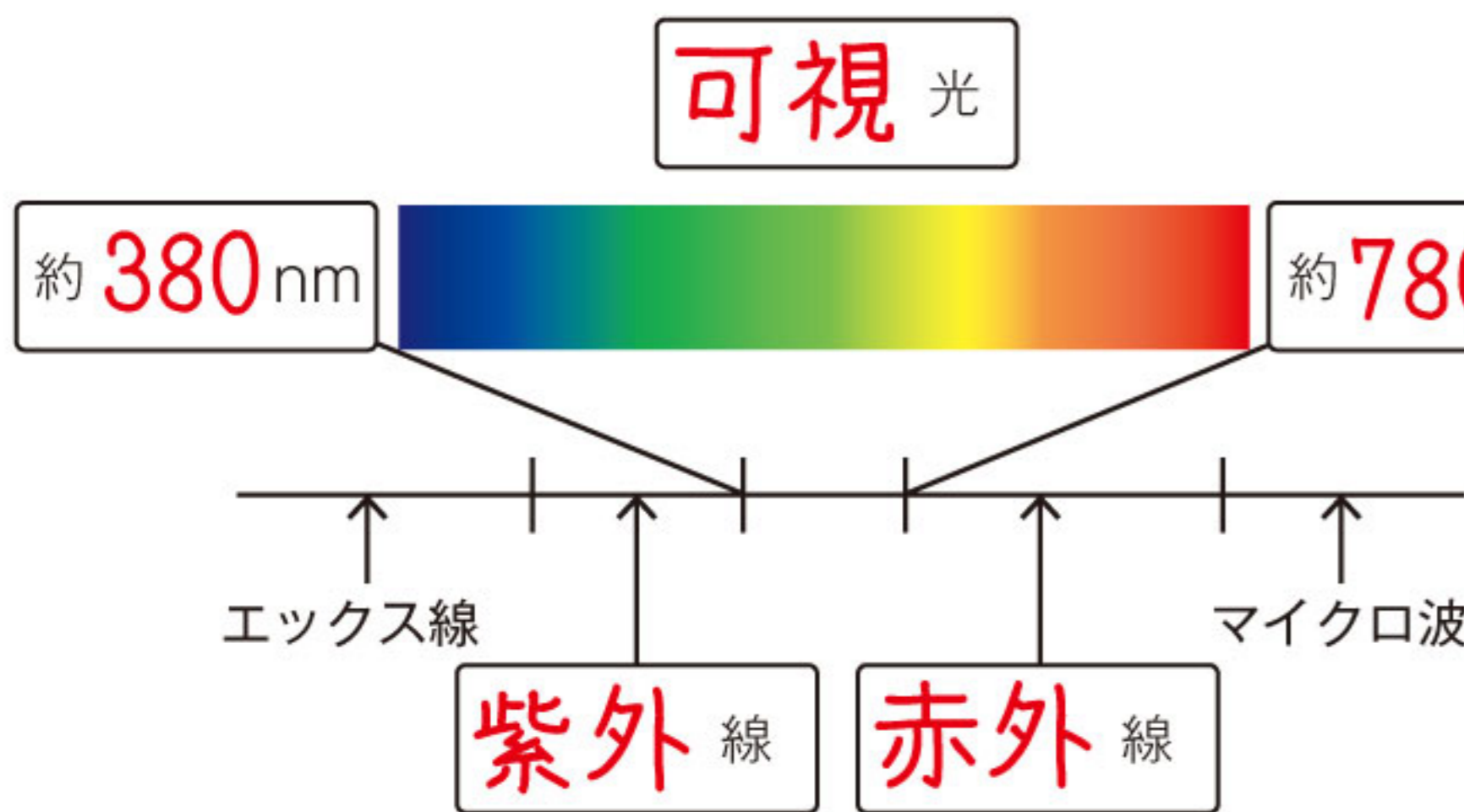
分光分布

②の色を表すグラフの名称

不透明な②のとき 分光反射率曲線

透明な②のとき 分光透過率曲線

■電磁波と波長



■波長範囲と名称

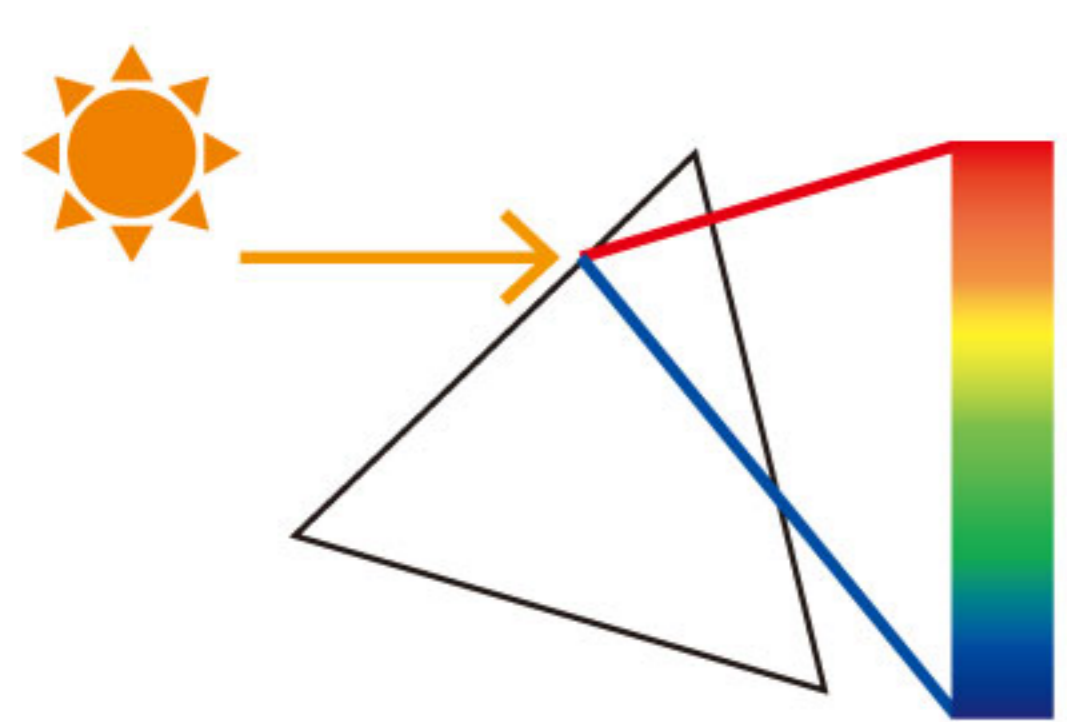
短波長：約 380~500nm

中波長：約 500~600nm

長波長：約 600~780nm

★nm=100万分の1mm

■太陽光



太陽光は複数の波長の光が集まった **複合** 光

⇒ **白色** 光 と呼ぶ。

太陽光をプリズムを通し **分光** すると

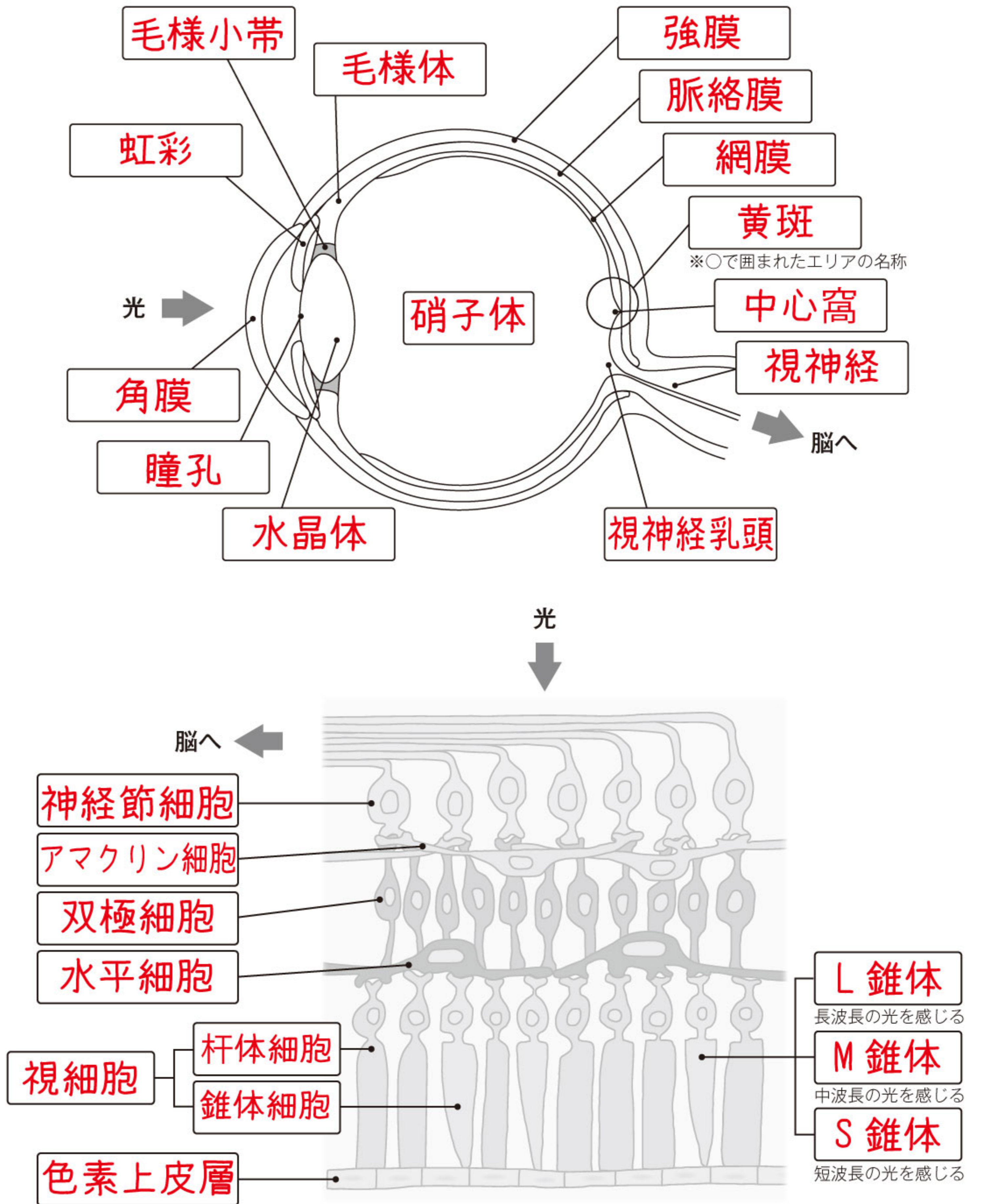
単一の波長である **単色** 光 が

スペクトル となって現れる。

光の様々な性質についても、解説ページで確認しておきましょう。

確認しよう！

以下の眼と網膜の模式図に部位の名称を記入しましょう。また光が到達する道筋の一例を矢印で示し、光が処理される過程を確認しましょう。



目と網膜の部位それぞれのたらしみや特徴は、解説ページで確認しておきましょう。

■混色の応用事例

混色の原理は身近な技術や現象に見られます。

カラーモニター	加法混色の三原色の発光の強さと、小さな色点の併置加法混色で色を再現している。
カラー印刷	減法混色の三原色と黒による小さな色点(網点・ドット)の大きさと配列で色を再現している。網点が重なった部分は減法混色が起こり、C、M、Yおよび減法混色によりできるR、G、B、黒、そしてインクが載っていない白が並んだ部分は併置加法混色となる。
織物	繊維は染色による減法混色、織物は経糸と横糸による併置加法混色によって色、柄を表現している。
絵の具	絵の具を混ぜてできる色は減法混色、塗った面では顔料が不規則に並ぶため併置加法混色が生じる。

試してみよう

パソコンの描画ソフトで、赤や緑などの色図を描いてプリンターで出力し、モニター上で見る色とプリントされた用紙上で見る色の違いを確認しよう。混色原理の違いを確認できるかな？

確認しよう！

下記の枠内に該当する言葉を記入して完成させましょう。

■混色の種類



■同時加法混色

原色：(色光)の三原色

特徴：混色後の色は(明るく)なる。

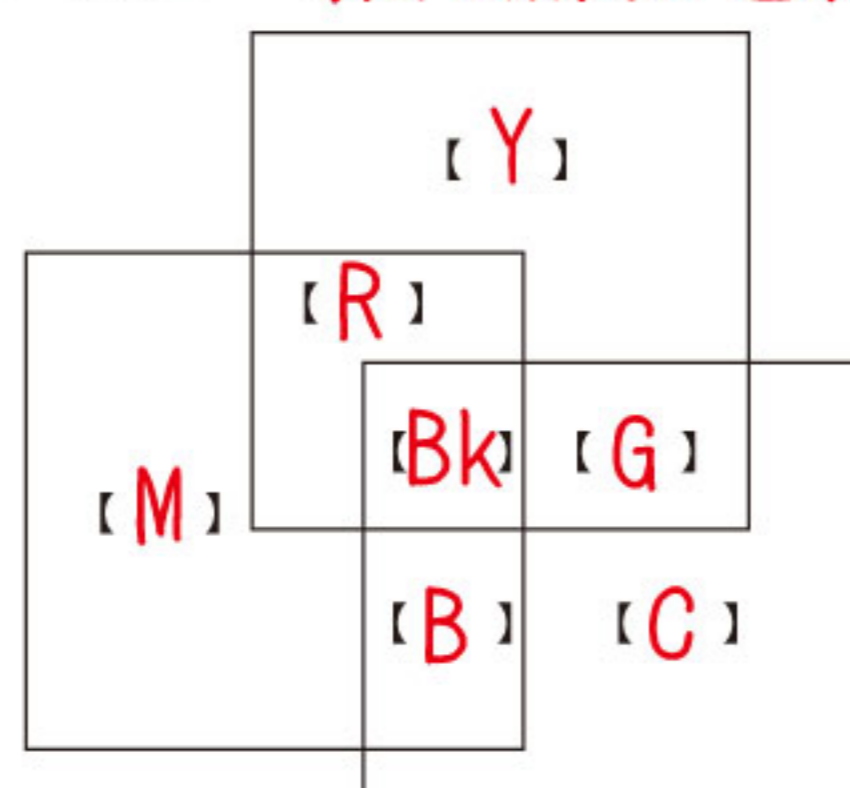
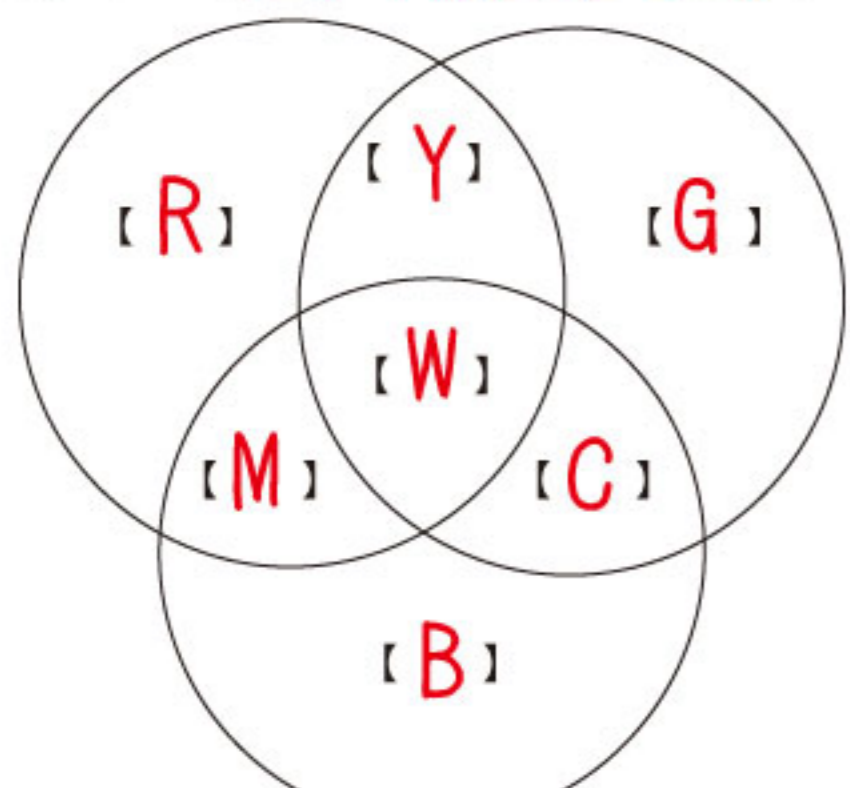
補色の混色：(白(無彩色))ができる。

■減法混色

原色：(色料)の三原色

特徴：混色後の色は(暗く)なる。

補色の混色：(黒(無彩色))ができる。

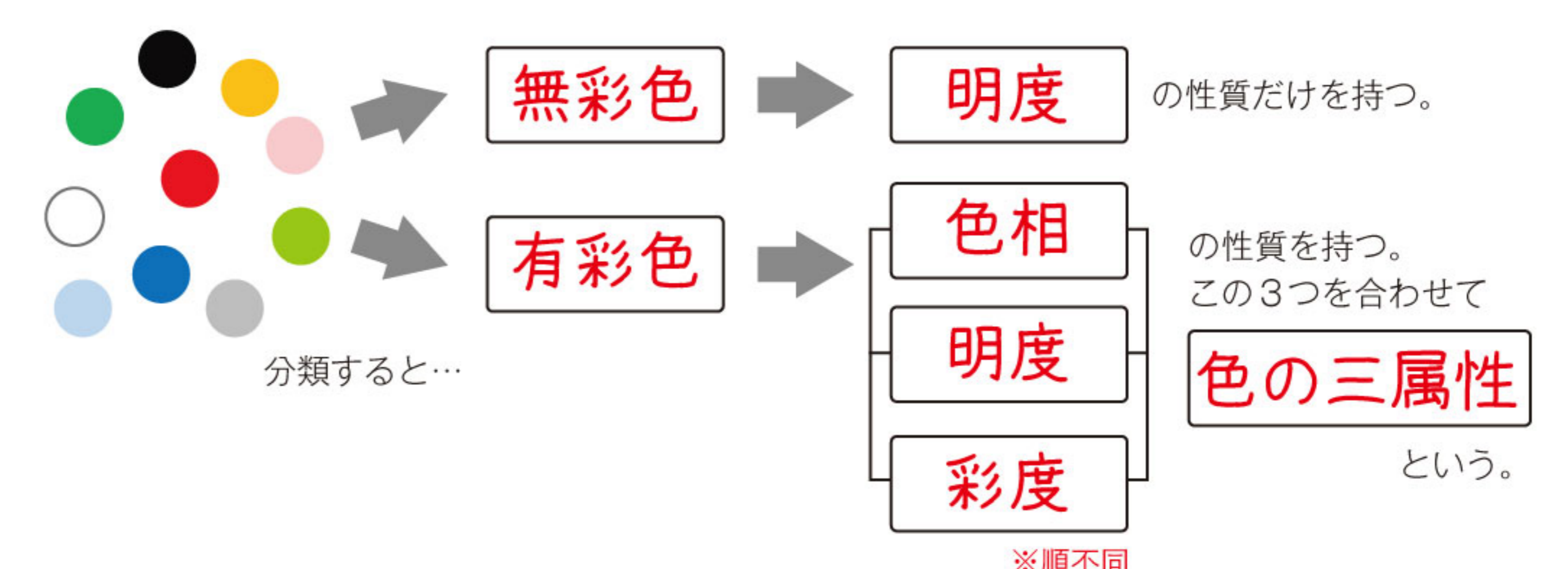


[]にはR、G、B、C、M、Y、W、Bkのいずれかを記入 ※回転させて同じ位置なら可

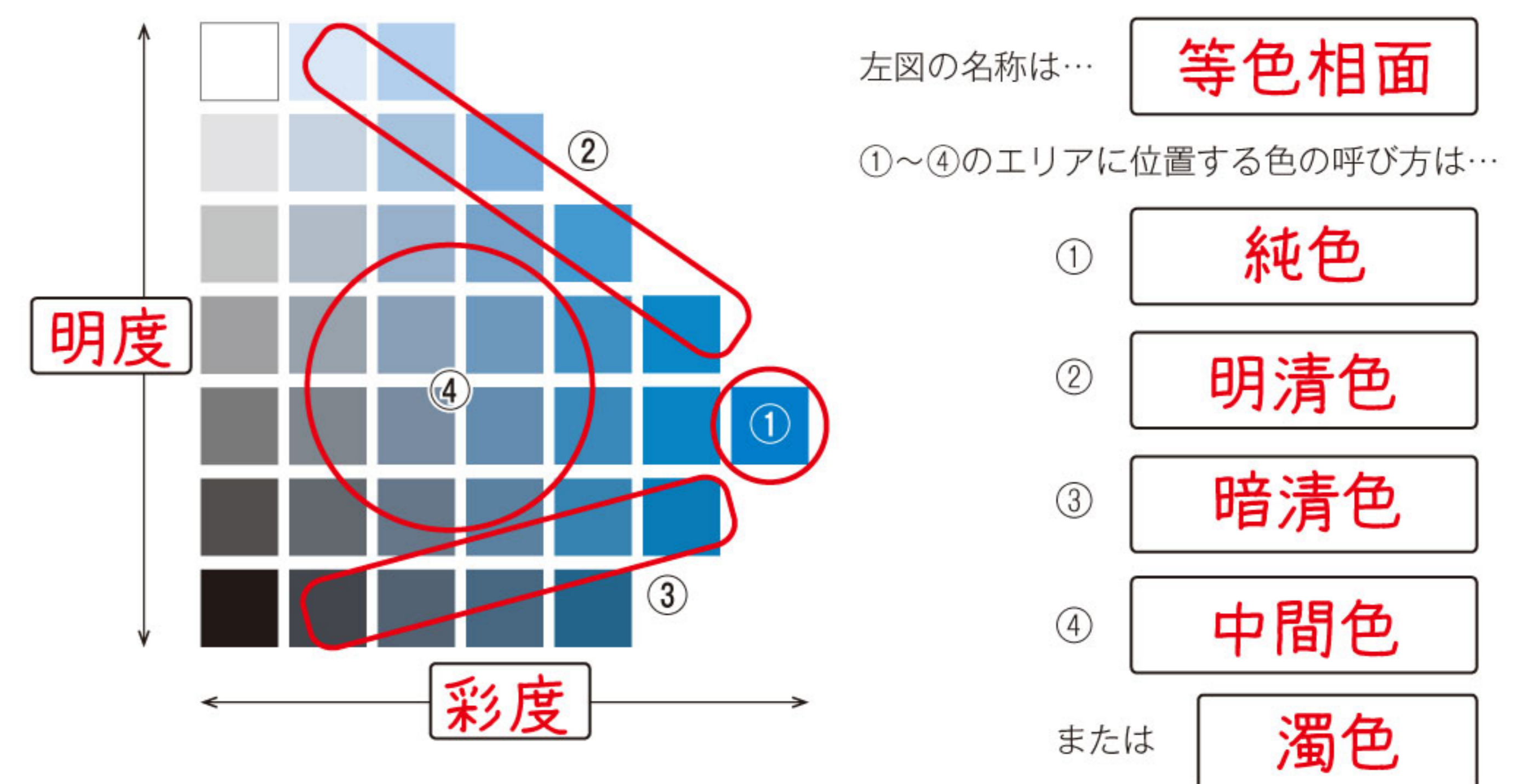
確認しよう！

下記の枠内に該当する言葉を記入して完成させましょう。

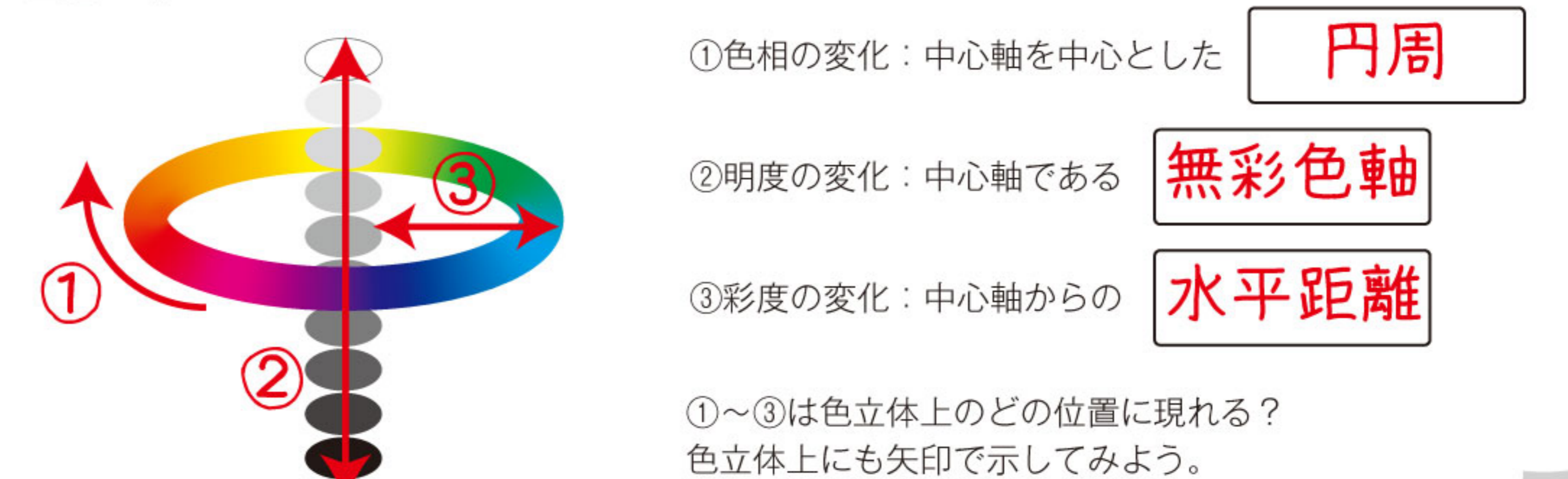
■色の分類と属性



■有彩色の分類



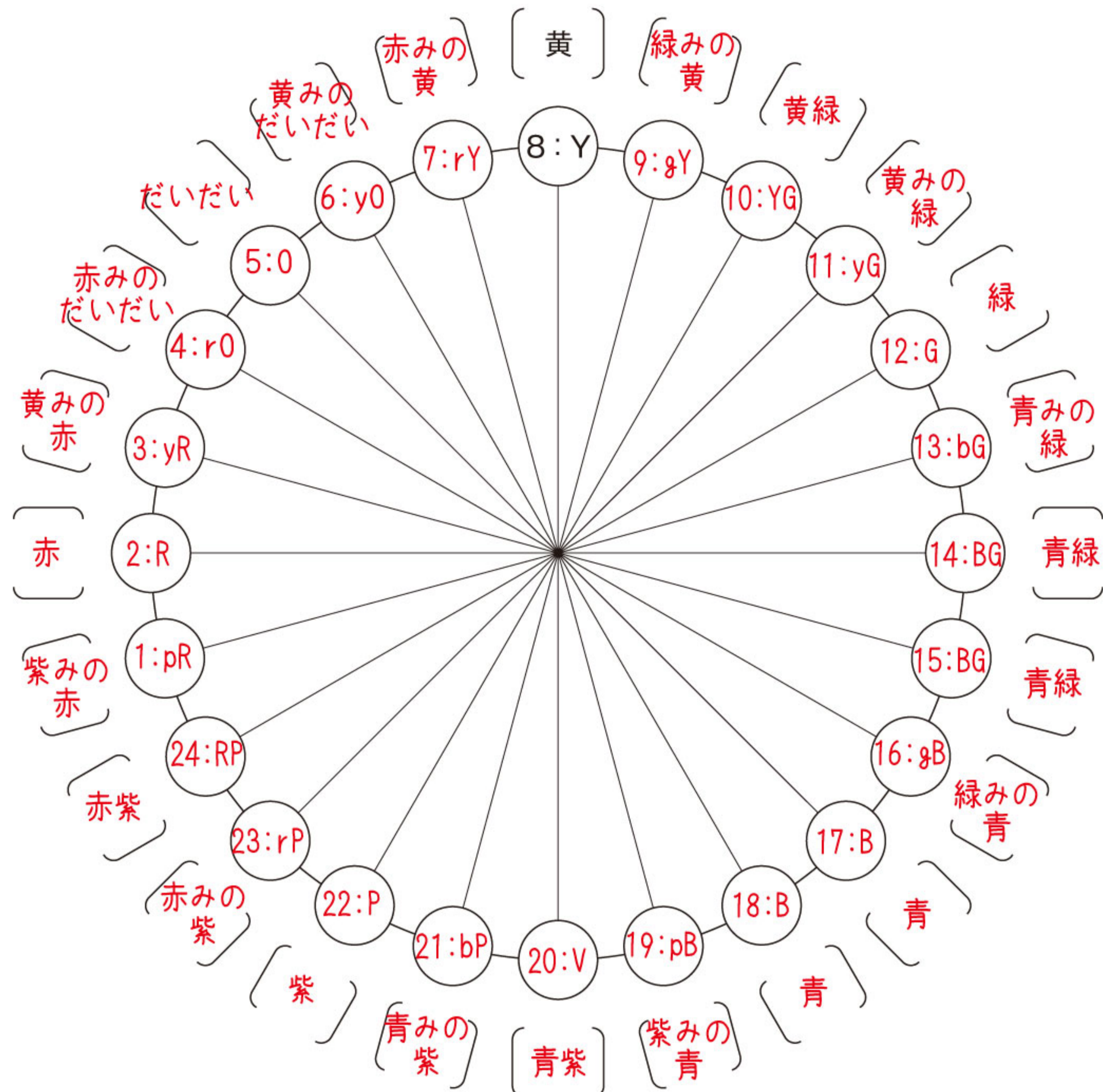
■色立体



確認しよう！

以下の PCCS 色相環の○には色相記号を、[]には日本語の色相名を記入し、色相環を完成させましょう。色相環上の色の位置も覚えましょう。

■ PCCS の色相 (英語名称= **Hue**)



- ①色相環では、24色相の中で最も明度が高い黄(8:Y)が一番高い位置にきます。
- ②色相記号・色相名から色を、色から色相記号や色相名を答えられるよう暗記しましょう。

下記の枠内に該当する言葉を記入して完成させましょう。

■ PCCS の明度 (英語名称= **Lightness**)

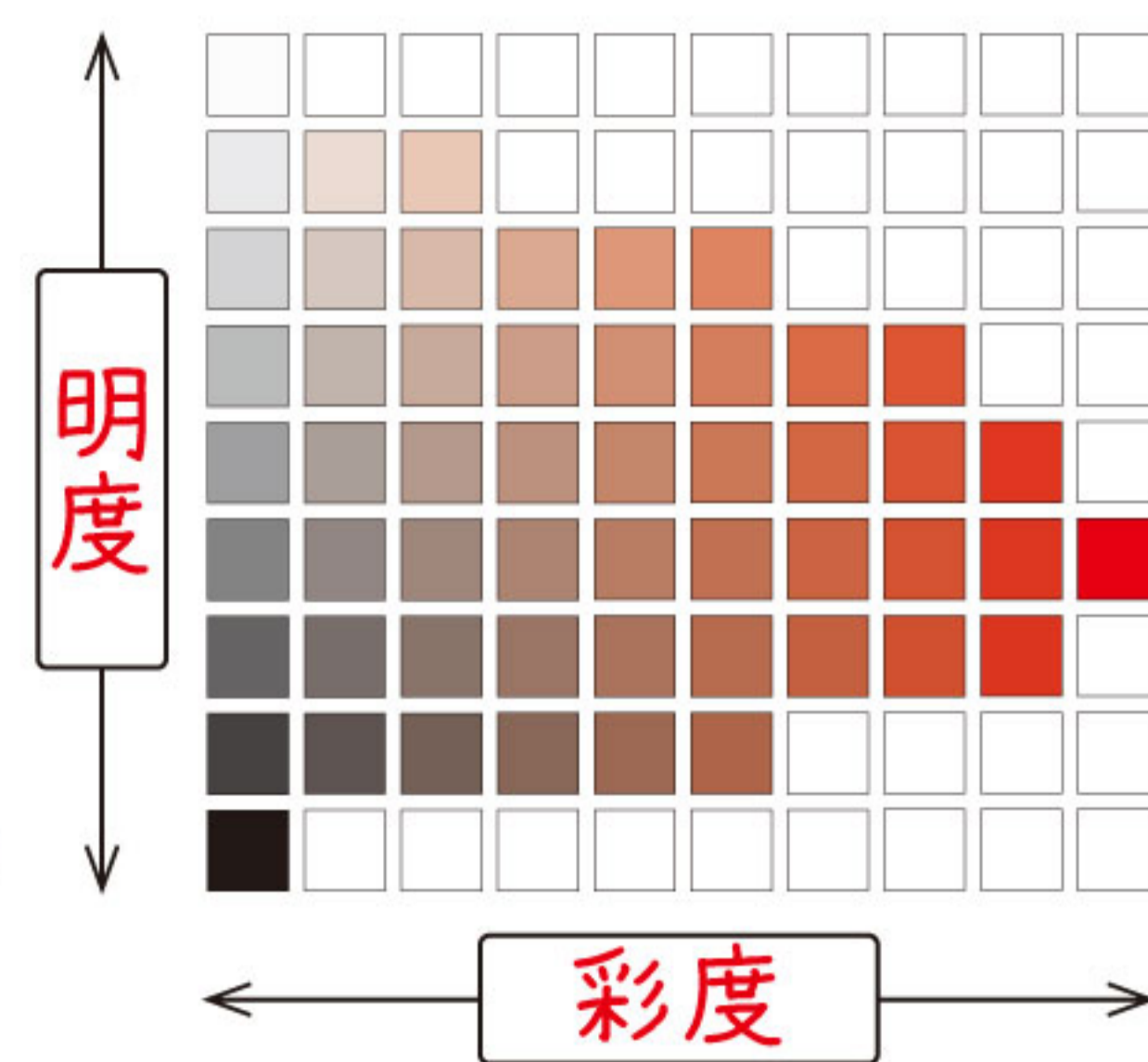
最も明るい白の明度: (**9.5**)
最も暗い黒の明度: (**1.5**)

高明度色: (**7.0**) ~ (**9.5**)
中明度色: (**4.5**) ~ (**6.5**)
低明度色: (**1.5**) ~ (**4.0**)

■ PCCS の彩度 (英語名称= **Saturation**)

純色の彩度: (**9s**)

高彩度色: (**7s**) ~ (**9s**)
中彩度色: (**4s**) ~ (**6s**)
低彩度色: (**1s**) ~ (**3s**)



■ 上記の図を何と呼びますか?

等色相面

下の PCCS トーンマップの空欄を例に従って記入し、完成させましょう。

(W) [ホワイト] (清潔な)	(p) [ペール] (薄い)	(lt) [ライト] (浅い)	(b) [ブライト] (明るい)	(v) [ビビッド] (さえた)
(Gy) [グレイ] (スモーキーな)	(ltg) [ライトグレイッシュ] (明るい灰みの)	(sf) [ソフト] (柔らかい)	(s) [ストロング] (強い)	(dp) [ディープ] (濃い)
(g) [グレイッシュ] (灰みの)	(d) [ダール] (鈍い)	(dk) [ダーク] (暗い)	(dk) [ダーク] (暗い)	
(Bk) [ブラック] (高級な)	(dkg) [ダークグレイッシュ] (暗い灰みの)			

(トーンの略記号)
[トーン名(カタカナ)]
(トーンのイメージ)
※イメージは代表的なものを1つ書いてください

確認しよう！

イラストのファッションコーディネートに、配色カードを使って自由に完成させましょう。

※アイテム欄には、セーター、パンツなど、どのアイテムを使うのかを記入し、枠には配色カードを貼り、()に選んだトーン記号を記入しましょう。



アイテム	色
ベースカラー	配色カード トーン記号 ()
アソートカラー	配色カード トーン記号 ()
アクセントカラー	配色カード トーン記号 ()

コーディネートした配色名はp.92~93の10種類のうちどれですか?
()

解答略

確認しよう！

インテリアに活用される色彩心理について、それぞれの効果を求めるときに使用する心理効果の名称と、関連する色の属性(色相・明度・彩度)を記入しましょう。

	心理効果の名称	属性
部屋を暖かく、または涼しく感じさせたいとき	暖色・寒色	色相
部屋の奥行き感を感じさせたり、近く見せたいとき	進出色・後退色	色相
部屋全体を広く見せたり、狭く見せたいとき	膨張色・収縮色	明度
部屋の軽快感や、重厚感を演出したいとき	軽い色・重い色	明度

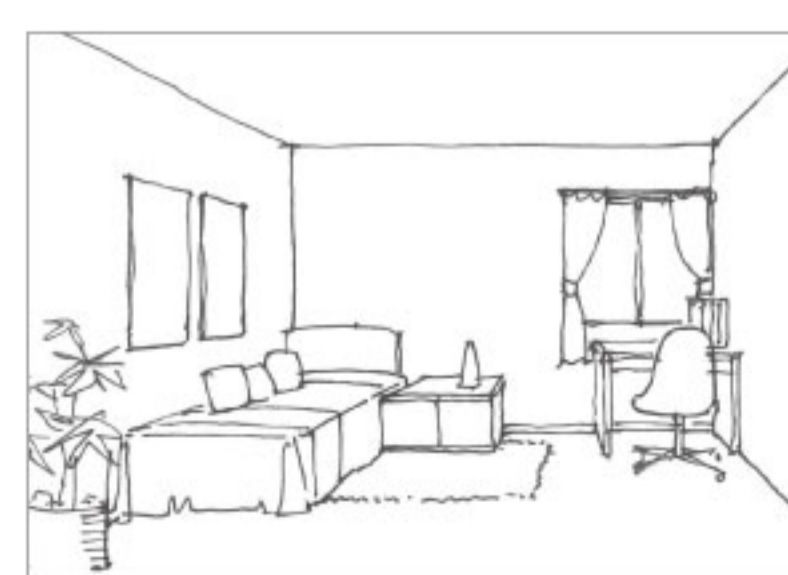
※それぞれの効果を得るための具体的な色についても確認しておきましょう。

ベースカラー、アソートカラー、アクセントカラーはその面積で判断します。また、アクセントカラーはコーディネートの中で最も目立つ色です。p.91で確認しましょう。

統一の調和は“まとまり感”をしっかりと感じますか？
同系色の組み合わせが基本です。
変化の調和は“コントラスト”を感じますか？
対照系色相の組み合わせが基本です。
それぞれ p.100 で確認しましょう。

確認しよう！

イラストのインテリアカラーコーディネーションを、配色カードで考えてみましょう。
※枠内に配色カードを貼り、()には選んだトーン記号を記入しましょう。



統一の調和を使ったコーディネート	天井・壁	床	椅子	カーテン・クッション
配色カード	配色カード	配色カード	配色カード	配色カード
()	()	()	()	()
変化の調和を使ったコーディネート	天井・壁	床	椅子	カーテン・クッション
配色カード	配色カード	配色カード	配色カード	配色カード
()	()	()	()	()

解答略